



発行所 日本看護連盟
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2
Tel 03-3407-3606 Fax 03-3407-3627
発行人 大島敏子

No. 394

2019年11月14日号



新しい役職に就いた4人の国会議員の抱負

木村やよい衆議院議員が総務大臣政務官に就任しました。また、あべ俊子衆議院議員、たかがい恵美子参議院議員、石田まさひろ参議院議員も新たな役職に就かれたことは、すでにお知らせいたしました。今回は、4人の議員から、今後の抱負・決意をお寄せいただきましたので、ご紹介いたします。

●党の役割をいただき、大きな転機を迎える次期診療報酬改定、骨太方針などに取り組みます！

あべ俊子衆議院議員

自由民主党

国会対策副委員長（厚生労働担当、復興担当）

国際局次長

衆議院

厚生労働委員会

復興委員会

こんにちは。皆さまにお支えいただき、5期目・15年目を迎えました、あべ俊子です。

2019年9月に外務副大臣の任を終え、現在は国会対策副委員長を拝命し、厚生労働委員会と復興委員会を担当しております。国会対策委員会の職務をこの機会にご報告させていただきます。

皆さまご存じのように国会は唯一の立法機関です。法案は、閣法は省庁から、議員立法は議員から提出されます。法案は、自由民主党（以下、自民党）では、まずは担当部会で議論されます。その後、政務調査会、自民党総務会にて自民党内での擦り合わせの後、各他党への根回し＝与野党間の調整となります。各他党への根回しが無事に終わりましたら、国会へ提出され、本会議で法案が読み上げられます（これを“お経読み”と言います）。その後、担当の委員会に付託され（法案審査の場所を本会議か

ら委員会に移すこと)、委員会の審議・採決を経て、再び本会議に戻されて採決される、という流れになります。この後、法案は参議院に送られて、参議院でも同じように法案の審査が行われます。

この一連の流れを円滑にするため、国会対策委員会では、本会議の日程、委員会の日程、法案通過のための衆参の擦り合わせを行います。月曜日から金曜日の9時10分から、国会対策正副委員長打合せ会があります。会議前には、各省庁の担当者が全員待機し、担当委員会での質疑内容、大臣らの出張案件、法案の動向などをやりとりし、必要なら、岸信夫筆頭国対副委員長や森山裕国対委員長に報告します。発言力は高いので、各省庁への根回しや調整はしやすい立場にあります。

もうひとつ、自民党国際局次長も務めております。党としての外交を担い、海外からのお客様をお迎えする、面談をする、党務にて海外に渡航する、という役割です。安全保障の礎は、外交にあります。政府にいと発言できない内容も、党の国際局からだと発信できることもあります。

2020年度診療報酬改定、次の骨太方針など大きな転機を迎えるなか、党の役割で、縦横無尽に活動できる立場をいただきまして、心から感謝申し上げます。これからもご指導よろしくお願いいたします。

●いのちの最前線に立つ看護職とともに、これからもがんばります！

たかがい（高階）恵美子参議院議員

自由民主党

文部科学部会長

女性活躍推進本部副本部長

令和元年台風19号非常災害対策本部員

人生100年時代戦略本部幹事

スポーツ立国調査会幹事長代理

参議院

厚生労働委員会委員

東日本大震災復興特別委員会筆頭理事

資源エネルギー調査会委員

深冷の候、相次ぐ豪雨災害によって国内各地に甚大な被害が生じています。心よりお見舞い申し上げますとともに、人々のいのちと暮らしに寄り添い一刻も早い復旧と生活再建の実現のために全力を尽くすことを、改めてお約束いたします。

先の党内人事において、自民党政務調査会文部科学部会長を命ぜられ、教育研究・科学技術・文化芸術・スポーツ等多岐にわたる政策推進の統括調整にあたらせていただいております。例えば、ノーベル化学賞の吉野彰博士による講演や、新たな月探査・宇宙開発計画への参画等の議論にも携わっています。同時に、女性活躍推進本部副本部長、令和元年台風19号非常災害対策本部員、人生100年時代戦略本部幹事、スポーツ立国調査会幹事長代理他多数の役職を務める運びとなりました。参議院では、東日本大震災復興特別委員会筆頭理事、厚生労働委員会委員、資源エネルギー調査会委

員を務めます。

また、厚生労働省が新たにお示しした保健師・助産師・看護師・准看護師養成に係る看護基礎教育カリキュラムの見直し方針と第7次看護職員需給計画は、国内外の随所で多様な活躍をみせる看護職の未来を切り拓くためにも大変重要な道標です。人々の暮らしとともに変化する看護ニーズを的確に捉え専門家として即座に対応していくためのノウハウ集積と研鑽、そして学校養成所における質の高い基礎教育の実現、この双方をともに充実・発展させることによって、看護職一人ひとりが存分に活躍できる環境を獲得できるよう今後も精一杯取り組んでまいります。

さらに世界女性国会議員会議の演説で「女性政治家には、あらゆる年代の女性たちが各々の望む場で個性や能力を健全に発揮できるよう公共政策を創り上げる責務がある」と述べました。具体的に日本国内では今後、女性の健康科学に基づく包括的支援の法制度体系の構築に取り組み、係る政策立案を分野横断・省庁統合スタイルで実現し、女性政策担当大臣の機動力を高める必要があることを提案しました。

いのちの最前線に立つ看護職とともに、これからもがんばります。

●看護の組織代表として、気合い十分、頑張っています！

石田まさひろ参議院議員

自由民主党

副幹事長

参議院副幹事長

看護問題小委員会事務局長

性的指向・性自認（LGBT）に関する特命委員会事務局長

参議院

厚生労働委員会筆頭理事

沖縄及び北方問題に関する特別委員会

東日本大震災復興特別委員会

皆様のご支援をいただき、2期目の活動に入ることができました。

党務では副幹事長を拝命しました。副幹事長は党の運営を担う幹事長を支える役割です。病院に例えると事務局に近いでしょうか。予算、人事、広報、総務そして選挙など多くの仕事があり、視野の広さと仕事の正確さが求められます。その中で私は広報を担当しており、参議院の世耕幹事長の記者会見の準備などを行っています。どのような質問が記者から来ても対応できるよう、社会で起きるあらゆる話題をチェックしなければなりません。また、不測の事態にも即応できるよう、議事堂3階にある幹事長室で、日中ほぼすべての時間を過ごしています。次々と人が訪問し相談事を持ってくる状態で、党の活動の幅は本当に広いと実感しています。国政を担う政党が自民党。自覚を持って役割を果たしていきます。

参議院では厚生労働委員会の筆頭理事にも就任しました。一昨年に続き2度目です。前回は、当時の国会の最重要法案である働き方改革法案を担当しました。今回は年明けの通常国会で、やはり重要法案である年金や介護保険の改正が見込まれており、厳

しくなりそうです。筆頭理事は事実上委員会の運営を担う重要な役割で、野党との交渉をはじめ、たくさんの意見を聞きまとめ、最後は与党としてキチンと法律を通すことが求められます。特に厚生労働委員会は最も難しい委員会のひとつに位置づけられており、法案の多さ、対立度の深さ、審議の長さなどが際立っています。そのような大役を任せられたことに、身の引き締まる思いです。もちろん、看護に関する議論をするのも厚生労働委員会。看護の組織代表として、最も力を発揮できる役割ではないかと思っています。

また「看護問題小委員会」の事務局長として党の看護政策実現に力を尽くしてまいります。

気合い十分、頑張っていきます！

●誰もがより健康で活躍できる、生きがいをもって暮らせる「地域共生社会」の実現を目指し、頑張ります！

木村やよい衆議院議員

総務大臣政務官

このたび総務大臣政務官を拝命しました。私の担当する分野は情報通信、放送行政、郵政行政となります。人と人を、人とモノを、電波や光ケーブルやさまざまな手段を使って「つなげる」仕事です。

人口減少社会、超少子高齢社会の中で、ICT（情報通信技術）はこれからの医療・介護・福祉、教育、地域交通、観光、農業、防災、行政サービスなどの分野において大きな役割を果たしていきます。そして労働力不足解消、より働きやすい環境づくり、地域経済の活性化、社会保障費の抑制、大規模災害対策が期待できます。とはいえ「AI（人工知能）」「5G」「Society 5.0」と、どれも耳慣れぬ言葉で「とてもついていけない」と感じられる方も多いかもかもしれません。私もそのひとりでした。でもICTは、時代の先端にいる情報通の一部の人たちのものではありません。看護職の皆さまや、情報弱者とされる高齢者や障害のある方たちにこそ、ICTの活用でQOLの向上を実感していただけます。そこを「つなぐ」のが私の役割です。便利で豊かな生活を享受できる一方で、プライバシーの保護、サイバーセキュリティなどの課題にも対処していかねばなりません。

もちろん、これまで地道に取り組んできた児童虐待問題、それに潜むDVやひとり親家庭支援なども、引き続き力を尽くしてまいります。おかげさまで液体ミルクも認知度が高まってきています。気候変動による自然災害が増えています。「清潔なお湯を確保できない状況下で、液体ミルクが大変役に立った」とのお声も寄せられています。誰もがより健康で活躍できる、生きがいをもって暮らせる「地域共生社会」を実現できるよう、これからも頑張ります。

木村やよいのFacebook、Twitter、Instagramに加え、総務省ホームページ、動画チャンネルでも日々の活動をご覧いただけます。なお一層のご支援を、よろしくお願い申し上げます。